

【学校法人 平方学園は2023年で90周年を迎えます】

明和児童クラブだより

第6号
2023年10月11日発行
(文責) 鷲頭

今年度2回目の避難訓練を実施しました！！

雨天のために一日順延となりましたが、9月7日(木)の16時30分から、今年度2回目の避難訓練を実施しました。今回は地震を想定しての避難訓練で以下のように行いました。

(1) 事前指導

児童に、「お・は・し・も」の約束(押さない、走らない、しゃべらない、戻らない)の指導、避難経路や避難場所、身を守るポーズ(「ダンゴムシのポーズ」)の説明などをしました。

(2) 地震発生時の連絡を受けての行動



「ダンゴムシのポーズ」で身を守りました。

(3) 外への避難開始



揺れが収まったという連絡により、外に出て避難場所へ移動しました。

(4) 避難場所で避難確認と振り返り

全員の避難を確認した後で、避難訓練を振り返り、講評しました。

※全体を通して、子どもたちは、とても素晴らしい態度で訓練に参加できました。



連絡 1. 11月分の利用予定表の提出について

11月分の利用予定表の**提出締め切りは、10月25日(水)**ですので、よろしくお願いいたします。

2. 会員継続関係の文書の依頼について

「会員継続の確認等に関する再調査」や「会員継続願」または「入会申請書」の**提出依頼を来週させていただく予定**です。

特に、「会員継続の確認等に関する再調査」については、**裏面の、「会員継続の確認等に関する再調査の記入にあたって」**をご覧ください、十分に検討したうえで、ご記入、ご提出をお願いします。

「会員継続の確認等に関する再調査」の記入にあたって

「明和児童クラブだより」第3号や第4号でも触れさせていただいていますが、確認のため、標記の調査を実施させていただききます。これは、年度末になってからの通年会員から長期会員への変更希望や退会希望がないようにして、一人でも多くの児童を受け入れてあげられるようにするためです。

そこで、**今回の再調査提出後の、会員の変更や退会の申し出は認めないこととします**ので、**ご留意願います**。特に、長期会員は、継続を希望した場合には、春休みか夏休みに必ず利用する必要が出てきますのでご注意ください。

「子育てのあれこれ」のコーナーについて 今年度も、「子育てに関すること」について、情報を提供しながら保護者の皆様方と、いっしょに考えさせていただきかけになればと、このコーナーを設けさせていただきます。

子育てについては、様々な学説や意見等がありますが、TV番組や講演会、書籍などでは、科学的な根拠に基づかない主観的な主張や、理論的な裏付けのない偏った主張なども最近をよく見聞きします。私自身は、子育てもほぼ終わりになるのですが、今までの職業がら、未だに子育てについては勉強中です。しかし、勉強をしていく中で、「もう少し早く、この子育ての情報を知っていればよかったのに・・・」と思えることが多いのが現実です。

そこで、私とは違って、子育ての真っ最中である保護者の皆様方に、少しでも役に立つような情報を提供できたらと考え、このコーナーを設けている次第です。このコーナーでは、児童心理学や脳医学、精神医学等々、できる限り科学的な根拠に基づいた子育てに関する理論や考え方、事例等を、毎回という訳にはいきませんが、時々紹介させていただこうと思います。なお、以前のコーナーとの関連性に触れることがあるかも知れないので、コーナーのNO.は2018年度からの続き番号にしております。

(文責=驚頭)

子育てのあれこれ No.19

今回は、「子育てのあれこれ」のバックナンバーについて紹介させていただきます。

ホームページから、以前の児童クラブだよりをダウンロードすることで、閲覧が可能です。興味ある方は、ぜひ過去のものもご覧ください。「子育てのあれこれ」今まで紹介した内容は以下のとおりです。

- NO. 1 (2018年度3号) 子育てのイメージ、発達課題と年齢
- NO. 2 (2018年度4号) 「甘えとわがまま・甘やかし」について事例解説
- NO. 3 (2018年度5号) 「子どもが意欲的になるために」について、お年玉の事例から
- NO. 4 (2019年度2号) 「子どもとの対話」について、その具体例
- NO. 5 (2019年度3号) 「教えること」と「育てること」、夏休みの宿題の事例から
- NO. 6 (2019年度4号) 「ほめ方」について、テストで100点をとった子への対応事例
- NO. 7 (2019年度6号) 「叱り方」について、帰宅が遅れた子への対応事例
- NO. 8 (2020年度3号) サッカーをやめたいといった子どもへの言葉かけや対応の事例
- NO. 9 (2020年度4号) 「マズローの欲求階層説」についての解説
- NO. 10 (2020年度7号) 「よい学業成績につながる子育て」について
- NO. 11 (2020年度8号) がまんする力をどのように育てたらいいか
- NO. 12 (2021年度2号) 「メラビアンの法則」についての解説と事例
- NO. 13 (2021年度6号) 「課題が多い子どもの指導」についての事例
- NO. 14 (2021年度7号) 子どもへの言葉かけの事例（「三大禁句」との関連から）
- NO. 15 (2022年度3号) 子育てのイメージ、バックナンバーの紹介
- NO. 16 (2022年度5号) 元気なく帰って来た子への言葉かけの事例
- NO. 17 (2022年度6号) 自己選択や自己決定を経験させながらする「しつけ」について
- NO. 18 (2022年度7号) 「がまんする力」と「がんばる力」に着目する子育て

以上

次回の予告

先週、認知された「いじめ」の件数が、依然として増加しているという報道がありました。国が、「いじめ問題」への本格的な取組を始めたのが2006年ですが、残念ながら解消の兆しも見えないのが現実です。そこで、**次回からは、「いじめをなくすための子育て」をテーマにして具体策等を紹介させていただきたい**と思います。

子育てのあれこれ No.12

(文責＝鷺頭)

今年度も「子育てのあれこれ」を続けて時々掲載させていただきます。以前のもの（ホームページに掲載）との関連で書かせていただくことがあるので、続きナンバーで掲載します。少しでも子育ての参考にしていただければありがたいです。ただし、紹介

させていただく理論や対応などはあくまでも理想なので、そのようにはできなくて当たり前だととらえていただくのがよいと思います。

今回は、心理学でも有名な理論の一つでもある「メラビアンの法則」について、